

## 社会科学研究会議 (SSRC)、新会長の選出を発表 (6月8日)

社会科学研究会議 (Social Science Research Council: SSRC) は6月8日、イラ・カネルソン氏 (Ira Katznelson) が今年9月1日付けで新会長に就任することを発表した。

### 1. カネルソン氏について

同氏はコロンビア大学で政治学・歴史学の教授を務め、アメリカ政治学・比較政治学・政治理論などの複数分野で著名な業績をあげている。

コロンビア大学の前は1979年から1982年までシカゴ大学で教鞭を取り、1983年から1989年までニュースクール大学 (the New School for Social Research) で大学院の研究科長を務めていた。また、2005年から2006年の間はアメリカ政治学会 (American Political Science Association) の会長を務め、他にもウィーン人文科学研究所 (Institute for Human Sciences Vienna) の学術諮問委員会副議長、社会科学史学会 (Social Science History Association) 前会長を歴任した。

同氏は現在、ジョン・サイモン・グッゲンハイム記念基金 (John Simon Guggenheim Memorial Foundation)、アメリカ芸術科学アカデミー (American Academy of Arts and Sciences) 及びアメリカ哲学協会 (American Philosophical Society) のフェローでもある。また、有力かつ多作な学者として、学際的なジャーナルの“Politics & Society”の創刊者兼編集者であった。

同氏は多くの SSRC の事業を長らく牽引してきたが、特に著名な活動としては、国家・社会構造委員会 (Committee on States and Social Structures) の委員、社会科学における現代国家の新たな分析調査に関する主要審議会の委員などが挙げられる。

### 2. 今後の SSRC について

SSRC は現会長のクライグ・カルホーン氏 (Craig Calhoun) の在任期間中、革新的な公共社会科学を重視し、電子フォーラム“After September 11”や大規模な社会調査“Learning from Katrina”などの事業を実施してきた。

カネルソン氏が次期会長に選出された結果についてカルホーン氏及び SSRC 役員は、現会長のもとで発展してきた SSRC の更なる発展が期待できるとして、称賛の声を送っている。

なお、カルホーン氏は退任後、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (London School of Economics and Political Science) の学長 (Director) に就任する見込みである。

### <参考データ>

SSRC Press Release “Ira Katznelson Named Next SSRC President” (2012年6月8日付)

<http://www.ssrc.org/pages/ira-katznelson-named-next-ssrc-president/>